

根釧の経済概況（令和7年12月末基準）：根室管内

水産：根室管内の水揚げは数量が前年比減少、金額は同比增加。サンマとイカが好調に推移、秋サケは記録的不漁。

①根室管内総水揚げ（各年1~12月）

根室市			根室管内3町		根室管内合計			
	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R7	59,289	27,264	49,373	24,838	108,662	▲5.6%	52,102	+12.7%
R6	59,405	24,334	55,792	21,885	115,197	+6.8%	46,219	+23.7%
R5	51,005	19,313	56,803	18,040	107,808	▲1.5%	37,353	▲2.3%
R4	48,431	18,201	61,114	20,046	109,545	▲12.1%	38,247	▲0.7%
R3	53,805	19,656	70,830	18,889	124,635	+13.5%	38,545	+23.8%

②秋サケ漁(根室管内・各年11月末)

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	単価(円/kg)
R7	1,411	▲82.9%	2,658	1,884
R6	8,278	+20.0%	8,775	1,072
R5	6,893	▲25.6%	4,726	683

・サンマは26,416tで前年比31.2%の増加、金額は107億27百万円。魚体も大きく、水揚げの制限もあったことから値崩れもしなかった。3年連続で数量は増加推移しているが、資源量については今後も要注意。
 ・管内秋サケは数量が1,411tで前年比82.9%の減少、金額も26億58百万円と大幅に減少し、過去最低水準の記録的な不漁となった。主力の4年魚が稚魚だった時に沿岸の海水温が高くなる時期が早かったことで、来遊数が減少したのではないかとみられている。

③サンマ漁(根室・各年12月末)

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	単価(円/kg)
R7	26,416	+31.2%	10,727	406
R6	20,126	+55.4%	9,253	459
R5	12,944	+35.3%	5,042	389

④イカ漁(羅臼・各年12月末)

	数量(t)	金額(百万円)	単価(円/kg)
R7	112	101	903
R6	84	60	714

・羅臼のイカ漁は、数量112t、金額1億1百万円で、数量、金額ともに前年よりも増加。単価も上昇した。

酪農：4~12月の生乳生産量は根室、釧路管内ともに、前年実績を上回る。

根室管内生乳生産量（各年4~12月）

年度別	数量(t)	前年比
R7	1,034,880	+1.4%
R6	1,019,595	+1.4%
R5	1,005,189	▲3.8%
R4	1,044,903	▲1.9%

地区別	数量(t)	前年比
全道	3,002,688	+1.6%
十勝	979,856	+2.6%
北網	452,562	+1.5%
釧路	400,478	+2.7%
根室	634,402	+0.7%

生乳生産量（4~12月）※生乳生産量はホクレン調べ

・根室管内の4~12月生乳生産量は、1,034千tで前年比1.4%増加となった。全道全体でも3,002千tで前年比1.6%増加。道東地域の各エリアで前年比増加となった。根室管内出の月別では、10月~12月については前年比減少で推移。分娩時期のズレや良質粗飼料の影響で乳量は伸びていたものの、秋以降、乳牛飼養頭数が減少したことが要因と考えられる。

今後の需給動向等

・2026年度は集団飲用向け乳価のみ引き上げ、それ以外の用途については乳価を現行価格のまま据え置くことと決定した。乳価については2025年度中に引き上げを行ったものもあるが、コスト高が継続する中で動向の注視が必要。
 ・飲用牛乳消費が低調のまま推移しており、道内での加工向けが増えている。脱脂粉乳在庫のさらなる積み増しが予想され、在庫処理の対策を早急に要する。
 ・乳牛頭数の減少を背景に、夏場の乳量が逼迫する恐れがあるが、春先や年末年始など需要が落ち着く時期の処理が不安視される。また、春分娩の乳牛を増やすなど、需要期にかかる増産体制の整備も重要となるとみられる。

○R7年度根室管内月別伸び率(前年同月比・%)

7月	+1.9%	8月	+1.4%	9月	▲0.0%
10月	▲1.2%	11月	▲1.6%	12月	▲0.5%

家畜取引：根室市場の取扱頭数が前年同期比3.9%増加、金額は同比32.3%増加。別海市場の取扱頭数は前年同期比9.0%減少、金額は同比54.3%増加。

□根室市場取引高（各年4~12月）

	取扱頭数(頭)	前年比	金額(百万円)	前年比	単価(千円)
R7	34,733	+3.9%	9,088	+32.3%	261
R6	33,410	▲6.3%	6,868	+4.7%	205
R5	35,683	+1.1%	6,554	▲1.6%	183

□別海市場取引高（各年4~12月）

	取扱頭数(頭)	金額(百万円)
R7	4,797	875
R6	5,277	567
前年比	▲9.0%	+54.3%

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
初生ホルスタイン牝 (単位：千円)	67.2	35.3	43.4	48.2	44.3	39.2
肉牛ホルスタイン経産牛 (単位：千円)	251.3	233.1	203.6	196.3	216.8	207.7

貿易：輸出は前年同期比減少、輸入は同増加。

(R7年1~12月貿易実績・根室税関支所発表・()内前年同期比)

【総額】 101億58百万円(+13.9%) 外国貿易船の入港隻数364隻(前年比▲16隻)
 【輸出】 32百万円(▲20.8%) 冷凍魚介類：17百万円(前年実績なし)、輸送用機器：0.3百万円(▲67.1%)
 魚網：6百万円(前年実績なし)
 【輸入】 101億25百万円(+14.1%) 生鮮魚介類：96億58百万円(+10.4%)、冷凍魚介類：4億66百万円(3.6倍)

根釧の経済概況（令和7年12月末基準）：釧路管内

◎水産：釧路港の水揚げは数量・金額ともに前年比減少。厚岸港は数量が前年比減少、金額は同比增加。

①釧路港総水揚高（各年1~12月）

全体				
	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R7	130,557	▲24.8%	9,436	▲20.0%
R6	173,659	▲8.3%	11,808	▲17.5%
R5	189,416	+9.7%	14,323	+35.9%
R4	172,554	▲15.6%	10,537	+18.9%
R3	204,499	+6.7%	8,860	+7.7%

(うち、スケソ)					
	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減	単価(円/kg)
	12,640	▲18.6%	841	▲10.0%	67
	15,546	▲4.1%	936	▲10.9%	60
	16,226	▲43.1%	1,051	▲38.6%	65
	28,537	▲36.1%	1,712	▲12.6%	60
	44,724	+13.3%	1,959	+12.8%	44

②釧路港魚種別水揚高(R7年1~12月)

主な魚種	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
スケソ	12,640	▲18.6%	841	▲10.0%
マダラ	8,085	+13.7%	2,477	+39.1%
サンマ	1,939	7.0倍	680	7.4倍
イカ	206	▲5.5%	185	2.3倍
カレイ類	540	+3.0%	100	▲22.0%
サケ・マス	12	▲65.7%	12	▲58.3%
ホッケ	2	▲77.7%	0.9	▲75.0%
イワシ	105,557	▲28.7%	4,315	▲45.5%

③厚岸港水揚高（各年1~12月）

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R7	10,827	▲2.7%	5,062	+1.5%
R6	11,133	+15.6%	4,984	+26.9%

④厚岸港魚種別水揚高(R7年1~12月)

主な魚種	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
サンマ	5,309	+51.5%	1,543	+16.8%
カキ	504	▲18.5%	778	▲19.0%
アサリ	1,322	+5.6%	1,030	+12.8%
ツブ	713	+1.3%	547	+9.8%

【釧路港水揚】

- ・R7年水揚数量は130,577tで前年比24.8%の減少、金額は94億36百万円で同比20.0%の減少となった。
- ・サンマは数量が1,939tで前年比7.0倍、金額も6億80百万円と同比7.4倍と大幅に増加し好調。
- ・スケソは12,640tで前年比18.6%の減少、金額も8億41百万円で同比10.0%の減少で、数量・金額ともに4年連続の減少となる。
- ・マイワシの数量は105,557tで前年比28.7%の減少、金額は43億15百万円で同比45.5%の大幅な減少となった。序盤で魚群の北上が遅れ、終盤は悪天候で出漁が減ったことが要因とみられる。
- ・主要魚種であるスケソやマイワシ、サケの減少が大きく、全体の水揚数量に影響を与えた。

【厚岸港水揚】

- ・R7年水揚数量は10,827tで前年比2.7%の減少、金額は50億62百万円で同比1.5%の増加となった。数量が大幅に増加したサンマは5,309tで前年比51.5%の増加、金額も15億43百万円で同比16.8%増加。カキは数量が504tで前年比18.5%の減少、金額も7億78百万円で同比19.0%の減少。
- ・アサリの数量は1,322tで前年比5.6%の増加、金額は10億30百万円で同比12.8%の増加で、数量が過去2番目、金額が過去最高を更新。大粒で味の濃い厚岸のアサリはブランド力が高く、価格が安定したことが要因とみられる。

◎製紙：市内製紙工場のR7年4~12月生産量は、前年同期比1.0%減少。

◎観光：R7年上期の釧路管内入込客数は4,624千人で、前年同期比7.3%増加。

- ・釧路管内全体での入込客数は着実に増加しており、道東道延伸による利便性の向上や道の駅しらぬか恋問館のリニューアルオープンなども増加の要因と推察される。また、本州と比較して過ごしやすさの認知も広がっており、長期滞在者の増加にも繋がっている。
- ・管内全体では、コロナウイルスが落ち着いた令和4年頃から大幅な増加傾向に推移していたものの、増加率が緩やかになっていたり、微減する市町村もあることから、入込客数が落ち着いてきているとみられる。
- ・訪日外国人は、東アジアの国や地域の方が多く占めているが、アメリカやカナダ、オーストラリアなどの割合も着実に増えており、湿原観光やアウトドアアクティビティの周知が広がっているとみられている。

◎貿易：輸出、輸入ともに前年同期比で減少。

(R7年1~12月貿易実績・釧路税関支所発表・()内前年同期比)

【総額】	1,308億40百万円 (▲1.5%)	外国貿易船の入港隻数303隻 (前年比▲34隻)
【輸出】	120億9百万円 (▲5.6%)	魚介類・同調製品：22億3百万円 (▲15.7%)、鉄鋼くず：39億22百万円 (▲2.8%) 動物性油脂：21億64百万円 (▲35.2%)、紙類・同製品：19億43百万円 (+6.2%)
【輸入】	1,188億30百万円 (▲1.1%)	肉類・同調製品：12億91百万円 (▲32.8%)、魚介類・同調製品：84億90百万円 (+40.6%) 米：36億99百万円 (▲30.3%)、飼料：170億14百万円 (▲10.1%) 植物性原材料：22億29百万円 (+14.3%)、石炭：90億38百万円 (▲38.1%) 肥料：200億77百万円 (+7.1%)

全国・全道の経済概況（令和7年12月末基準）

住宅着工戸数

全国

■ 4～12月合計は534千戸で前年同期比12.4%減少。建築コストや労務費の上昇、住宅ローンの金利上昇などを要因に、利用別でも、すべての着工別で前年比減少した。

月別		
	着工戸数(戸)	前年比
R7年 12月	62,118	▲1.3%
R7年 11月	59,524	▲8.4%
R7年 10月	71,871	+3.1%
R7年 9月	63,570	▲7.2%
R7年 8月	60,275	▲9.7%
R7年 7月	61,409	▲9.7%

着工戸数(戸)				
	前年比			
R7年4～12月計	534,148	▲12.4%		
内訳	持家	▲12.8%	貸家	▲12.1%
	給与	▲7.0%	分譲	▲12.5%

■ 4～12月合計は16兆4,348億円の前年同期比4.5%増加。月別下半期は7月、8月、11月は前年比7%前後の減少。建設コストの増加から年々増加傾向にある。

月別		
各月	工事請負契約額(百万円)	前年比
R7年 12月	1,914,757	+17.5%
R7年 11月	1,205,449	▲6.9%
R7年 10月	2,276,349	+30.5%
R7年 9月	2,448,067	+8.6%
R7年 8月	1,602,215	▲6.0%
R7年 7月	2,011,134	▲7.7%

年別		
各年(4～12月)	工事請負契約額(百万円)	前年比
R7	16,434,800	+4.5%
R6	15,720,306	+8.3%
R5	14,513,824	▲2.5%

■ 4～12月合計は7,788件で前年同期比2.5%増加。負債額は1兆1816億円で同36.7%減少。件数は4年連続で増加を続けている。物価高や人手不足の影響を受けた小規模事業者の倒産が増加した。

年別推移 (金額単位：百万円)				
各年(4～12月)	件数(件)	前年比	負債額	前年比
R7	7,788	+2.5%	1,181,696	▲36.7%
R6	7,597	+15.5%	1,867,380	▲10.3%
R5	6,577	+34.8%	2,082,074	+1.8%
R4	4,879	+10.4%	2,043,762	2.3倍
R3	4,419	▲22.7%	854,253	▲5.9%

■ R6年10月～R7年9月は四半期全て前年同期比で増加。特にR7年7～9月が同比10.2%の増加。延旅行者数は、R4年から安定して増加を続けている。R6年度は前年同期比6.6%の増加となっており、増加幅は緩やかになっている。円安や物価高から国内旅行を選ぶ人が増えている。

延旅行者数(千人)		
	前年同期比	
R7年7～9月	109,804	+10.2%
R7年4～6月	98,601	+2.2%
R7年1～3月	76,613	+4.5%
R6年10～12月	84,976	+5.9%

各年度	延旅行者数(千人)	前年同期比
R6	357,604	+6.6%
R5	335,332	+7.9%
R4	310,702	+78.2%

公共工事請負高

全道

■ 4～12月合計は17千戸で前年同期比26.9%減少。利用別では持家と貸家は前年比で減少、給与と分譲は増加した。月別下半期は全ての月で前年比減少。

月別		
	着工戸数(戸)	前年比
R7年 12月	1,718	▲18.0%
R7年 11月	2,146	▲24.5%
R7年 10月	2,469	▲3.5%
R7年 9月	2,187	▲6.5%
R7年 8月	2,029	▲11.3%
R7年 7月	2,215	▲24.7%

着工戸数(戸)				
	前年比			
R7年4～12月計	17,389	▲26.9%		
内訳	持家	▲16.3%	貸家	▲39.2%
	給与	+69.1%	分譲	+6.6%

■ 4～12月合計は、前年同期比1.4%増加。発注機関別では、全ての機関が前年比で増加している。特に地方公社が同比2.3倍と大幅に増加した。

年別		
各年(4～12月)	前払保証請負額(百万円)	前年比
R7	1,012,615	+1.4%
R6	998,430	+9.6%
R5	910,374	+13.6%
R4	801,069	▲6.4%

発注機関別 (R7年4～12月)		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
国	195,799	+1.9%
北海道	185,996	+3.9%
道内市町村	328,843	+5.6%
独立行政法人等	235,412	+9.5%
地方公社	8,340	2.3倍

■ 4～12月合計は210件で前年同期比4.4%増加。負債額は274億円で同21.9%減少。負債額は4年ぶりに減少に転じたが、件数は4年連続で増加。業種別では小売業が最多で、消費を取り巻く厳しい環境が要因とみられる。

年別推移 (金額単位：百万円)				
各年(4～12月)	件数(件)	前年比	負債額	前年比
R7	210	+4.4%	27,475	▲21.9%
R6	201	+2.0%	35,194	+30.1%
R5	197	+35.8%	27,040	+18.9%
R4	145	+51.0%	22,737	+98.0%
R3	96	▲22.5%	11,479	▲21.6%

■ R6年度の延旅行者数は17,703千人で前年同期比20.4%の増加。四半期別ではR7年4～6月が前年比同期比で12.2%の減少となったが、それ以外のシーズンは同比增加で推移。新千歳空港の空路増便や北海道の「自然」や「歴史・文化」「食」への関心の高まりから増加で推移。

延旅行者数(千人)		
	前年同期比	
R7年7～9月	6,293	+3.2%
R7年4～6月	4,857	▲12.2%
R7年1～3月	2,871	+16.6%
R6年10～12月	3,201	+20.4%

各年度	延旅行者数(千人)	前年同期比
R6	17,703	+20.4%
R5	14,697	+33.8%
R4	10,981	+48.9%

企業倒産動向

観光客入込動向

根釧の経済概況（令和7年12月末基準）

住宅着工戸数

根室

■4～12月合計は21戸で前年同期比22.2%減少。利用別では、持家が大幅に減少、貸家が増加した。

□根室市住宅着工戸数

		月別				
	戸数(戸)	前年比(戸)	前年比			
R7年	12月	8	+7	8.0倍		
R7年	11月	0	▲3	全減		
R7年	10月	2	0	±0.0%		
R7年	9月	1	▲2	▲66.6%		
R7年	8月	7	+4	2.3倍		
R7年	7月	1	▲4	▲80.0%		
年別（4～12月）						
各年(4～12月)	持家	貸家	給与	分譲	合計	前年比
R7	11	10	0	0	21	▲22.2%
R6	23	3	0	1	27	▲65.8%
R5	30	45	2	2	79	+75.5%

釧路

■4～12月合計は242戸で前年同期比29.4%減少。利用別では持家と貸家が前年から減少、給与と分譲が若干増加した。

□釧路市住宅着工戸数

		月別				
	戸数(戸)	前年比(戸)	前年比			
R7年	12月	17	▲44	▲72.1%		
R7年	11月	8	▲31	▲79.4%		
R7年	10月	29	+6	+26.0%		
R7年	9月	76	+58	4.2倍		
R7年	8月	12	▲29	▲70.7%		
R7年	7月	61	+29	+90.6%		
年別（4～12月）						
各年(4～12月)	持家	貸家	給与	分譲	合計	前年比
R7	115	102	1	24	242	▲29.4%
R6	169	153	0	21	343	▲19.4%
R5	186	206	1	33	426	▲0.6%

公共工事請負高

■4～12月合計は222億32百万円で前年同期比7.2%減少。2年連続の減少となる。根室管内は道路などの産業基盤、漁港などの農林水産関係の公共工事があったが、特に目立つ大きな公共工事は無かった。

年別（4～12月）		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
R7	22,232	▲7.2%
R6	23,979	▲1.8%
R5	24,434	+15.1%
R4	21,217	▲4.0%

■4～12月合計は457億76百万円で前年同期比10.8%減少。道路や港湾等の産業基盤や、国土保全に関する保証工事が多かった。

年別（4～12月）		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
R7	45,776	▲10.8%
R6	51,353	+21.7%
R5	42,190	+14.8%
R4	36,721	▲6.1%

企業倒産動向

■4～12月の倒産件数は根室市内3件、管内全体では5件。件数・負債額ともに前年から増加した。うち根室市は昨年0件だったが今年は3件と増加。収益性の確保が難しく資金繰りの急速な悪化は今後も続く予想される。

年別（4～12月）				
各年(4～12月)	【根室管内】		【うち、根室市】	
	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
R7	5	299	3	238
R6	2	252	0	0
R5	3	490	1	350
R4	1	32	1	32
R3	1	13	0	0

■4～12月倒産件数は釧路市内11件、管内全体では18件。件数・負債額ともに管内は前年同期比で増加。うち釧路市は件数が減少したものの、負債額は増加した。販売不振による倒産が目立った。

年別（4～12月）				
各年(4～12月)	【釧路管内】		【うち、釧路市】	
	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
R7	18	1,354	11	841
R6	17	732	16	649
R5	12	501	11	417
R4	11	2,615	8	1,926
R3	6	530	5	443

観光客入込動向

■延旅行者数は1,903千人で前年同期比3.9%増加となった。コロナウイルス流行が落ち着いたR4年度以降、増加率は大きく推移していたが、R6年度は緩やかに推移した。域内イベントや観光施設への来場者が増えたとみられる。

	観光客入込客数(千人)	前年同期比
R7年7～9月	1,015	+9.4%
R7年4～6月	432	+0.3%
R7年1～3月	272	+3.3%
R6年10～12月	272	+1.9%

■延旅行者数は7,190千人で前年同期比4.2%の増加となった。コロナ流行以前の水準まで回復傾向にあり、伸びが緩やかに推移し始めている。国内客も回復してきており、円安や国際航空便の増加によりインバウンドも増加傾向にある。

	観光客入込客数(千人)	前年同期比
R7年7～9月	2,829	+8.1%
R7年4～6月	1,795	+6.0%
R7年1～3月	1,412	+10.3%
R6年10～12月	1,470	+4.6%

各年度	観光客入込客数(千人)	前年同期比
R6	1,903	+4.0%
R5	1,830	+40.2%
R4	1,305	+34.8%

各年度	観光客入込客数(千人)	前年同期比
R6	7,190	+4.2%
R5	6,895	+11.3%
R4	6,189	+32.3%